

令和7年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「自分で学ぶ時間」と「他者と協働する時間」の バランスを意識した取組 春日部市教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

事例1

- 学年・教科名 小学校第2学年・国語
- 单元名 「ロボット」
- 身に付けさせたい力 「だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを友達にしらせる」

導入

教員「どんなロボットがあると助かりますか。」
児童「警備ロボット！」



・児童の「やりたい！」を高める。
今まで学んできた教科書の内容の復習をする。その後、これからの未来においてどんなロボットが自分の身近にあれば助かると思うか児童に問いかける。

展開



教員「大切なことばをしっかりと見つけて書きましょう。」
児童「理由や具体例も入れよう。」

・自分で選択し、個別に内容をまとめる。
児童の興味・関心をもとに参考となる本を選択する。その後、今まで教科書で学んできた力を生かして、自分で選んだ本から必要な情報を読み取り、ワークシートにまとめる。

まとめ



教員「グループで確認しましょう。」
児童「〇〇さんのいい！」

・友達と読み合い、内容を交流する。
グループになり、自分の書いた内容を見せ合い、よいところや改善点を伝え合う。その後メンバーを変えて交流をする。

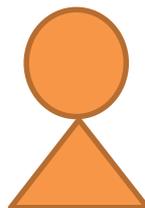
事例2

- 学年・教科名 中学校第1学年・社会
○单元名 「世界の諸地域 アジア州」
○身に付けさせたい力 「アジア州全体の地域特色について学習し、その学んだことについて生徒自身がまとめる」

導入

- ・既習内容の確認
アジア州について、学習した内容について覚えていることを発表する。その後、既習を生かして単元の課題について自分の言葉でまとめ、発表することを伝える。

教員「アジア州の各地域の経済発展の特徴や問題点は何でしたか。」「今まで学んできたことを復習しましょう。」



展開



- ・単元の課題への取組方法の説明
ノートにまとめるか、プリントにまとめるか、スプレッドシートにまとめるか方法を選択する。また個人で取り組むか、グループで取り組むかも自分で選択する。そうすることでそれぞれが学び取りやすい方法で取り組めるようにする。

教員「自分の学び取りやすい方法を選択して、学習をはじめてください。」

まとめ



教員「友達の発表から生かせることがあったら積極的にメモをして自分のを改善しましょう。」

- ・自分のまとめと他者のまとめを比べながら聞き、自分のまとめの改善をする。発表をするだけでなく、意見や質問も出させ、発表者と聞き手の相互で理解が深まるようにする。